

●地域の力が結集したまちづくりイベントの開催

6月6日の土曜日、埼玉県秩父郡小鹿野町（おがのまち）で、全国路地のまち連絡協議会による「路地S.T.（ろじスタ）2009 inおがの」が行われた。路地を活かして地元アートや芸能を展示するイベントで、中心市街地の活性化に取り組む小鹿野町が、住民や主催者を巻き込んで開催したものだ。

人口約15,500人のこの町は、東京池袋から特急で1時間半、さらにバスで40分のところにある。地歌舞伎が有名で、特に子供歌舞伎はその愛らしさから全国からの引き合いが多い。また、昭和初期まで絹の中継基地として栄え、まちのメインストリート沿いには重厚な構えの商家や旅館が並び、交差する路地沿いは特に往時の風情を残している。

小雨降る中、まちの中心でバスを降りると、人通りはなく、空家や駐車場が山ほどある。しかし、時間になると祭太鼓が街なかに響き渡り、太鼓の会場の愛宕座に行くと、大人と子供が交じった太鼓の見事な演奏。街なかには、路地のBOX artをはじめ、モバイル、花の一輪挿しなど、ものすごい量のアートが展示されている。こんなに多くの作品が、いったい誰が、いつの間にと驚いた！

日頃、歌舞伎や太鼓などの伝統芸能を継承していく中で、いざ！となると、地域としての結集力があるのだと思う。主催者も町長も来年も開催すると表明している。是非、皆さんも来年の小鹿野町に訪れてみてはいかがだろうか。

全国路地のまち連絡協議会HPのレポート

http://jsurp.net/roji/report/watching/20090606ogano_rojist/20090606ogano_rojist.htm

木村晃郁（株式会社 都市計画同人）
紹介者：坂井雅子（第二計画部）

●非線引き用途地域外の地区計画

新潟県長岡市にあります長岡技術科学大学都市計画研究室では、都市計画制度の実態把握と改善策に関する研究を、主に地方都市を対象として継続的に取り組んでいます。

私は現在、修士論文作成に向け「非線引き用途地域外で適用された地区計画に関する研究」というテーマで日々研究に励んでいます。

平成12年の都市計画法改正により、非線引き用途地域外でも地区計画の策定が可能となりました。これは非線引き用途地域外の地区における土地利用コントロールにおいて有効であると考えます。そこで、非線引き用途地域外で地区計画を策定した全国12市15地区を対象に、適用事例の傾向と活用実態の詳細から、運用上のメリットや課題を具体的に実証していきます。

非線引き用途地域外の地区計画一覧

http://www.almec.co.jp/info/images/pic_HN129-2.jpg

まだまだ研究は始まったばかりでわからないことだらけですが、昨年度のアルメックでのインターンで培ったことを活かしながら（対象は大都市ではなく地方都市になりますが…）、一歩一歩進んでいきたいと考えています。

内木場 正樹（長岡技術科学大学 都市計画研究室）
紹介者：高尾 利文（第二計画部）

●向島の観光まちづくり活動フォローアップの報告

弊社は、観光まちづくりに関する各種の業務を手がけているが、調査が終了した後もその実現のためのフォローアップに余念がない。その中でもトップセールスできる観光資源の活用については、地元の活動団体と共に持続可能な観光振興のための様々な展開を図っている。

平成24年春に開業が予定されている新タワー「東京スカイツリー」の近傍である向島地域は、新たな観光ポテンシャルの高まりに対して町ぐるみで活動する「向島町おこしの会」が結成され、筆者は、向島地域の観光まちづくり調査終了後も、この会員として現在も活動を続けている。

向島は都内の六花街（向島、浅草、神楽坂、新橋、赤坂、芳町）の中でも最大規模を誇り、今に残る花街文化は観光振興の一助としての潜在能力が備わっている。これを踏まえて「向島町おこしの会」は、「向島華のお座敷」を7月4日に開催した。これは、芸妓が唄や踊りを練習する場である「向嶋墨堤組合」（通称：見番）の大広間において、若手の芸妓達の日々の踊りや唄の練習成果をリーズナブルな料金（二千円也）でお披露目する催しである。今回で3回目の開催となるが、回を重ねる都度その人気は鰻上りで、今回はチケット予約の受付開始1時間でSold-Outといった状況になった。

さらに、今回初めて向島銘菓で名高い「長命寺桜餅」「言問団子」「志満ん草餅」を詰め合わせにした「向島セット」（吉千円也）といった、通常ではあり得ないコラボ商品開発・販売を手がけると同時に、「華のお座敷」を観覧した20名の通訳案内士に対して向島の観光まち歩きをセットにしたサービスも大好評の結果となった（下記URLに詳細レポートがあります）。

http://www.yamatogokoro.jp/yonehara/2009/07/post_39.html#007808

海口晴彦（第二計画部／NPO法人日本文化体験交流塾 理事）

発行責任者：代表取締役 庄山 高司
事務局：株式会社アルメック 業務部
東京都目黒区青葉台 1-19-14
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210
Eメール hotnews@almec.co.jp
ホームページ <http://www.almec.co.jp/>

Copyright 2009 ALMEC Corporation. All rights reserved.